



2020年2月7日

各 位

会 社 名 三井松島ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 天野 常雄
(コード番号 1518 東証 第1部 福証)
問合せ先 常務執行役員 吉岡 泰士
(TEL. 092-771-2468)

特別利益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2019年5月15日に公表しました2020年3月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年3月期通期連結業績予想数値の修正について

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 75,000	百万円 3,000	百万円 3,500	百万円 2,000	円 銭 153.79
今回修正予想 (B)	66,600	2,700	2,900	2,600	199.92
増減額 (B-A)	△8,400	△300	△600	600	
増減率 (%)	△11.2	△10.0	△17.1	30.0	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	75,702	5,201	5,910	2,240	171.98

2. 修正の理由

第3四半期連結累計期間の業績及び第4四半期の見通しを踏まえ業績の見直しを行った結果、売上高については石炭販売事業における販売数量の減少や石炭価格の下落等により当初予算を下回る見込みとなりました。また、営業利益及び経常利益につきましても、衣料品分野や電子部品分野における販売減少などの影響により当初予想を下回る見込みとなりました。

一方、親会社株主に帰属する当期純利益については、豪州クイーンズランド州 Mimosa 鉱区における炭鉱開発に係る事業収支計画の見直しに伴い、連結子会社の MITSUI MATSUSHIMA INTERNATIONAL PTY. LTD. が保有する鉱区権等の無形固定資産を再評価することで、特別損失約3億円の発生が第4四半期に懸念されるものの、連結子会社株式会社エムアンドエムサービスの株式譲渡により、2020年3月期の連結決算に特別利益約11億円(個別決算においては約7億円)を計上する見込みであること等を業績予想に織り込んだ結果、当初予想を上回る見通しとなりました。

※上記の予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果になる可能性があります。

以 上